

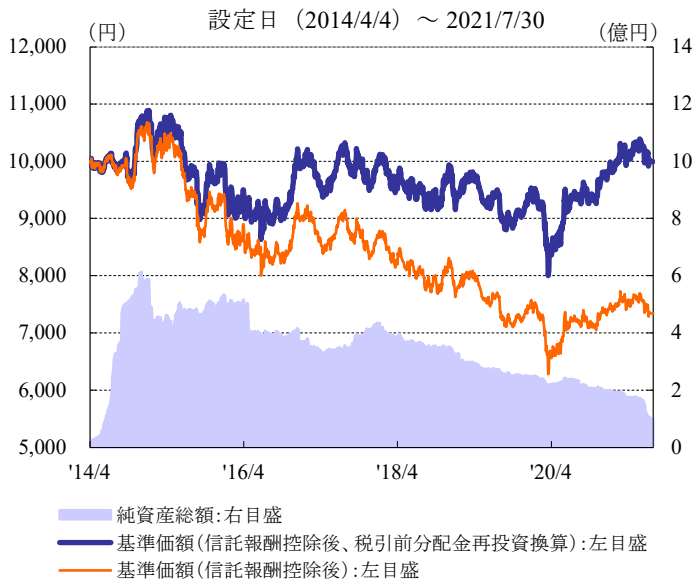
短期NZドル債オープン(毎月分配型/資産成長型)

(1/6)

2021年7月末現在

短期NZドル債オープン(毎月分配型)の運用実績

◆基準価額・純資産総額の推移



◆基準価額・純資産総額

基準価額	7,340円
純資産総額	0.9億円

◆基準価額騰落率

期間	ファンド
1ヵ月	-0.4%
3ヵ月	-3.1%
6ヵ月	0.9%
1年	7.1%
3年	5.1%
5年	9.8%
設定来	-0.1%

※決算は、毎月7日です(休業日の場合は、翌営業日)  
 ※分配対象額が少額な場合には、委託会社の判断で分配を行わないことがあります

◆分配金推移

決算	分配金
第82期('21/2)	30円
第83期('21/3)	30円
第84期('21/4)	30円
第85期('21/5)	30円
第86期('21/6)	30円
第87期('21/7)	30円
設定来	2,550円

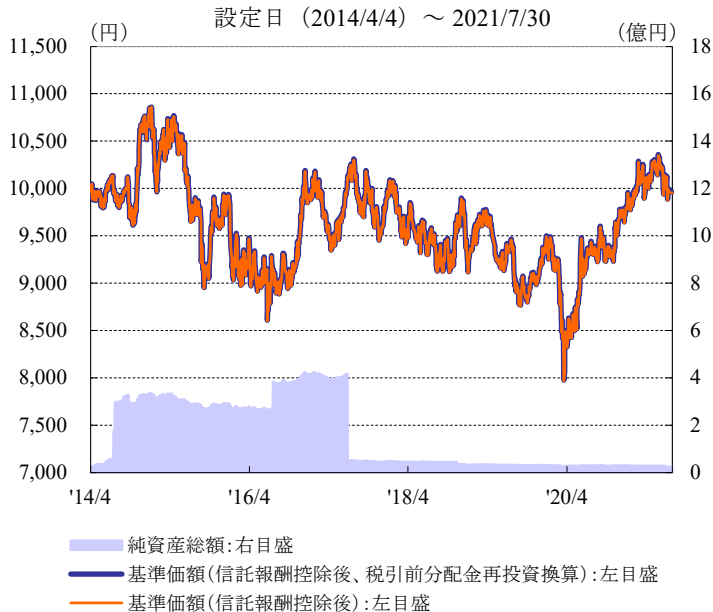
<ご参考> 基準価額の月間騰落要因分析

要因項目	2021年7月
基準価額騰落額	-59円
分配金	-30円
為替要因	-22円
債券要因等	+2円
信託報酬等	-9円

※基準価額の月間騰落要因分析は、基準価額の騰落額を一定の条件をもとに試算した概算値であり、その正確性、完全性を保証するものではありません

短期NZドル債オープン(資産成長型)の運用実績

◆基準価額・純資産総額の推移



◆基準価額・純資産総額

基準価額	9,953円
純資産総額	0.1億円

◆基準価額騰落率

期間	ファンド
1ヵ月	-0.4%
3ヵ月	-3.1%
6ヵ月	0.9%
1年	7.1%
3年	5.1%
5年	9.7%
設定来	-0.4%

※決算は、毎年3月、9月の7日です(休業日の場合は、翌営業日)  
 ※分配対象額が少額な場合には、委託会社の判断で分配を行わないことがあります

◆分配金推移

決算	分配金
第9期('18/9)	0円
第10期('19/3)	0円
第11期('19/9)	0円
第12期('20/3)	0円
第13期('20/9)	0円
第14期('21/3)	0円
設定来	10円

<ご参考> 基準価額の月間騰落要因分析

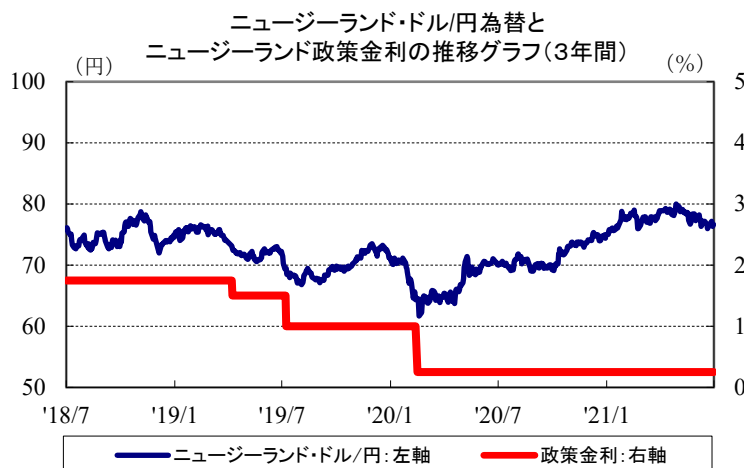
要因項目	2021年7月
基準価額騰落額	-41円
分配金	0円
為替要因	-31円
債券要因等	+2円
信託報酬等	-12円

※基準価額の月間騰落要因分析は、基準価額の騰落額を一定の条件をもとに試算した概算値であり、その正確性、完全性を保証するものではありません

※基準価額推移のグラフにおける基準価額(信託報酬控除後、税引前分配金再投資換算)およびファンドの騰落率は、信託報酬控除後の基準価額に対して、税引前分配金を決算日に再投資した修正基準価額をもとに算出、表示 ※騰落率は実際の投資家利回りとは異なります  
 ※分配金は1万円あたりの金額(税引前) ※過去の実績は、将来の運用結果を約束するものではありません

■当資料はファンドの運用状況をお知らせするために三井住友DSアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■お申込みの際には、販売会社からお渡します投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。■投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します(外貨建資産には為替変動による影響もあります)ので基準価額は変動します。したがって元本が保証されるものではありません。■投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

## ＜ご参考＞



ニュージーランド・ドル/円為替騰落率

	NZドル/円	騰落率
2021年7月末	76.61 円	—
2021年6月末（1ヵ月）	77.28 円	-0.9%
2021年4月末（3ヵ月）	78.91 円	-2.9%
2021年1月末（6ヵ月）	74.82 円	+2.4%
2020年7月末（1年）	69.99 円	+9.5%

※ニュージーランド・ドル/円為替は投資信託協会発表の為替を使用

## マーケットコメント

## ●市況動向

## 【マクロ経済】

2021年4-6月期のCPI（消費者物価指数）は前年比+3.3%と市場予想（+2.7%）を上回り、1-3月期（+1.5%）から上昇しました。CPIは大幅に上昇したものの、一時的な要因に依るところが大きいとされています。その他の経済指標では、製造業PMI（購買担当者景気指数）や企業景況感指数、消費者信頼感指数などのセンチメント指標はまちまちでした。6月の住宅売上高は+6.2%となり、5月（+81.4%）対比で減速しました。

14日のRBNZ（ニュージーランド準備銀行）会合では、政策金利を0.25%に据え置いた一方、新型コロナウイルスの流行に伴う景気下支え策として実施してきたQE（量的緩和）は7月23日までに終了すると発表しました。市場ではRBNZの早期利上げ観測が強まりました。

## 【債券】

7月のニュージーランド債券市場は、中短期国債利回り（※1）が0.71%（6月末0.50%）、長期国債利回り（※2）は1.52%（同1.77%）となり、短期債は利回りが上昇（価格は下落）した一方、長期債は利回りが低下（価格は上昇）しました。

7月の債券市場はグローバルに利回りが低下しました。各国で景気回復ペースに一巡感が見られていることや、感染力の強い新型コロナウイルスのデルタ型の感染者が増加していることが利回り低下要因になりました。ニュージーランドでは隣国オーストラリアのロックダウン（都市封鎖）の長期化などもあり長期債利回りは低下したものの、短期債利回りはタカ派（インフレ抑制を重視する立場）的なRBNZ会合や早期利上げ観測を背景に上昇しました。

## 【為替相場】

7月のNZドル円相場は下落しました。7月末=76.61円（前月末=77.28円）

外債全般に利回りが低下したことや、株式市場が一時不安定な値動きとなったことなどから円高傾向となりました。タカ派的なRBNZ会合はNZドル高材料だったものの、オーストラリア主要都市でのロックダウンの影響からオーストラリアドルが下落したこともあり、NZドル円は月間でやや下落となりました。

## ●運用状況

7月の運用は、償還を控えているため債券を売却し、円キャッシュを保有する安定運用に切り替えました。

（※1）中短期国債：NEW ZEALAND GOVERNMENT 5.5 04/15/2023

（※2）長期国債：NEW ZEALAND GOVERNMENT 1.5 05/15/2031

## 【繰上償還へ向けて】

当ファンドは、2021年8月16日をもって繰上償還をさせていただくこととなりました。

受益者の皆様には、これまで当ファンドにご愛顧賜りましたことを深く感謝いたします。

引き続き弊社並びに弊社投資信託により一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

※当コメントは、資料作成時点における市場環境について、運用担当者（ファンドマネジャー他）の見方あるいは考え方を記載したもので、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料はファンドの運用状況をお知らせするために三井住友DSアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■お申込みの際には、販売会社からお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。■投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します（外貨建資産には為替変動による影響もあります）ので基準価額は変動します。したがって元本が保証されるものではありません。■投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

## ファンドの目的

当ファンドは、主としてマザーファンドへの投資を通じて、ニュージーランド・ドル（NZドル）建ての高格付けの公社債および短期金融商品に投資を行うことにより、安定的な利息収益の確保と中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。

## ファンドの特色

- 主として短期NZドル債マザーファンドへの投資を通じて、高格付けのNZドル建ての公社債および短期金融商品へ実質的に投資することにより、安定した利息収益の確保を目指します。
    - 主として、高格付けのNZドル建て公社債等へ投資します。
    - ファンド全体のデュレーションは、原則として3年未満とします。
    - 原則として為替ヘッジは行いません。
  - 「毎月分配型」と「資産成長型」の2つのファンドからお選びいただけます。
    - [毎月分配型]
      - 毎月7日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として分配を目指します。
    - [資産成長型]
      - 毎年3月、9月の7日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、分配金額を決定します。
- 販売会社によっては、2つのファンド間でスイッチングが可能です。スイッチングのお取扱いについては、各販売会社までお問い合わせください。なお、販売会社によっては、一部のファンドのみのお取扱いとなる場合があります。
- 委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

※資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

## 投資リスク（詳しくは最新の投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください)

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- 運用の結果として信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。
- 投資信託は預貯金と異なります。また、一定の投資成果を保証するものではありません。
- 当ファンドの主要なリスクは以下の通りです。
  - 為替リスク
  - 金利変動に伴うリスク
  - 信用リスク
  - 流動性リスク
  - カントリーリスク

■当資料はファンドの運用状況をお知らせするために三井住友DSアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■お申込みの際には、販売会社からお渡します投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。■投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社の店頭等でご用意しております。■投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します(外貨建資産には為替変動による影響もあります)ので基準価額は変動します。したがって元本が保証されるものではありません。■投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

下記は投資信託における「分配金に関する留意事項」を説明するものであり、当ファンドの分配金額や基準価額を示すものではありません。

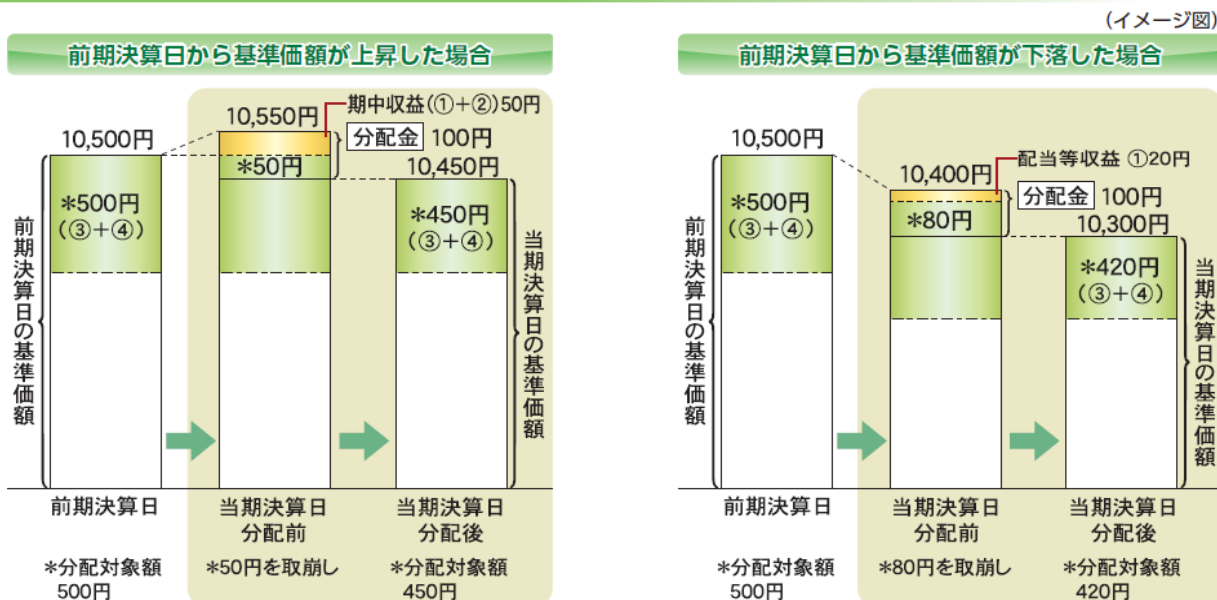
### 分配金に関する留意事項

分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。



分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

#### 分配金が計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合



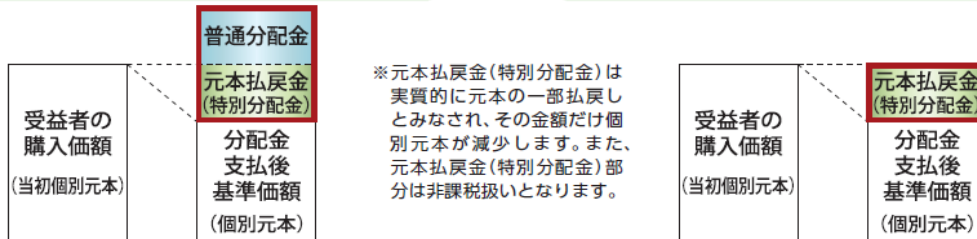
(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

受益者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

#### 分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

#### 分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本(受益者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金)：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の受益者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

■当資料はファンドの運用状況をお知らせするために三井住友DSアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■お申込みの際には、販売会社からお渡します投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。■投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社の店頭等でご用意しております。■投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します(外貨建資産には為替変動による影響もあります)ので基準価額は変動します。したがって元本が保証されるものではありません。■投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

## ファンドの費用 (詳しくは最新の投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください)

### 投資者が直接的に負担する費用

- 購入時手数料 購入価額に3.3%(税抜き3.0%)を上限として、販売会社毎に定める手数料率を乗じた額です。詳しくは販売会社にお問い合わせください。購入時手数料は販売会社によるファンドの募集・販売の取扱い事務等の対価です。
- 信託財産留保額 ありません。

### 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

- 運用管理費用(信託報酬) ファンドの純資産総額に年1.243%(税抜き1.13%)の率を乗じた額とします。運用管理費用(信託報酬)は日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期末または信託終了のときに、信託財産から支払われます。

<運用管理費用(信託報酬)の配分(税抜き)>

販売会社別の取扱残高	委託会社	販売会社	受託会社
100億円以下の部分	年0.55%	年0.55%	年0.03%
100億円超 500億円以下の部分	年0.50%	年0.60%	年0.03%
500億円超 1,000億円以下の部分	年0.45%	年0.65%	年0.03%
1,000億円超の部分	年0.40%	年0.70%	年0.03%

※上記の配分には別途消費税等相当額がかかります。

支払先	役務の内容
委託会社	ファンドの運用およびそれに伴う調査、受託会社への指図、基準価額の算出、法定書面等の作成等の対価
販売会社	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
受託会社	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの指図の実行等の対価

- その他の費用・手数料 以下のその他の費用・手数料について信託財産からご負担いただきます。
  - 監査法人等に支払われるファンドの監査費用
  - 有価証券の売買時に発生する売買委託手数料
  - 資産を外国で保管する場合の費用 等
 ※上記の費用等については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。  
 ※監査費用の料率等につきましては請求目論見書をご参照ください。

※上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

■当資料はファンドの運用状況をお知らせするために三井住友DSアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■お申込みの際には、販売会社からお渡します投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。■投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社の店頭等でご用意しております。■投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します(外貨建資産には為替変動による影響もあります)ので基準価額は変動します。したがって元本が保証されるものではありません。■投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

## お申込みメモ（詳しくは最新の投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください）

- 信託期間 2021年8月16日まで（2014年4月4日設定）  
※当ファンドの信託期間は2024年4月8日まででしたが、信託を終了（繰上償還）することとなったため、信託期間は2021年8月16日までとなりました。
  - 購入単位 お申込みの販売会社にお問い合わせください。
  - 購入価額 購入申込受付日の翌営業日の基準価額
  - 換金単位 お申込みの販売会社にお問い合わせください。
  - 換金価額 換金申込受付日の翌営業日の基準価額
  - 換金代金 原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
  - 申込不可日 以下に当たる場合には、購入・換金のお申込みを受け付けません。  
● ニューージーランド証券取引所の休業日
  - 決算日 [毎月分配型] 毎月7日（休業日の場合は翌営業日）  
[資産成長型] 毎年3月、9月の7日（休業日の場合は翌営業日）
  - 収益分配 [毎月分配型] 年12回決算を行い、分配方針に基づき分配を行います。（委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。）  
[資産成長型] 年2回決算を行い、分配方針に基づき分配金額を決定します。（委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。）
- （共通）  
分配金受取りコース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、決算日から起算して5営業日目までにお支払いいたします。  
分配金自動再投資コース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、無手数料で再投資いたします。  
※販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。

## 投資信託に関する留意点

- 投資信託をご購入の際は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）を必ずご覧ください。  
投資信託説明書（交付目論見書）は販売会社の本店等にご用意しております。
- 投資信託は、元本保証、利回り保証のいずれもありません。
- 投資した資産の価値が投資元本を割り込むリスクは、投資信託をご購入のお客さまが負うことになります。
- 投資信託は預金、保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 銀行など登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

## 委託会社およびその他の関係法人

- 委託会社（ファンドの運用の指図を行う者）  
三井住友DSアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号  
加入協会 / 一般社団法人 投資信託協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会、  
一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
- 受託会社（ファンドの財産の保管および管理を行う者）  
三井住友信託銀行株式会社
- 販売会社

取扱販売会社名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
株式会社あおぞら銀行(※2)(※3)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第8号	○	○	
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○	○	
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○	○	○
京都信用金庫(※2)	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第52号	○	○	
株式会社滋賀銀行(※2)(※3)	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第11号	○	○	
株式会社荘内銀行(※2)	登録金融機関	東北財務局長(登金)第6号	○	○	
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第108号	○	○	○
立花証券株式会社(※1)	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第110号	○	○	
株式会社千葉興業銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第40号	○	○	○
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○

(※1) インターネットのみのお取り扱いとなります。

(※2) 毎月分配型のみのお取り扱いとなります。

(※3) 新規の募集の取り扱いおよび販売業務は現在行っていません。

(50音順)

■当資料はファンドの運用状況をお知らせするために三井住友DSアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■お申込みの際には、販売会社からお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■投資信託説明書（交付目論見書）は販売会社の店頭等でご用意しております。■投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します（外貨建資産には為替変動による影響もあります）ので基準価額は変動します。したがって元本が保証されるものではありません。■投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。